



奥薩摩構想において、観光振興策としての整備が期待される鶴田ダム周辺ゾーン

平成15年12月議会でも質問しましたが、その後の事業推進の経過は、また、合併が近づ



奥さつま  
川口憲男議員

く中での関係市町との協議は、県への要望等、構想の展望は。将来に向けたビジョンが具体化しつつあるのか、考えを伺いたい。

町長

事業推進の経過は、奥薩摩ホテル舟運航、紫尾温泉周辺整備とも

その後の構想の展望は  
関係機関と連携を図る

に順調に伸びてきており、町道平江線、県道鶴田大口線の改良等に今後も努力していきます。

関係市町との協議は、合併してもこの地域における広域的活動は、地域の観光振興等に大

待されており、継続されるべきものと考えています。

構想の展望等については、県への要望等を含め、関係市町の厳しい財政状況の中で明るい展望は見出せない状況にありますが、構想実現に向けては、関係機関と一層緊密な連携を図り取り組んでいきたい。

地域防災

楠木園洋一議員

災害弱者への対応は  
防災無線で早めに対処



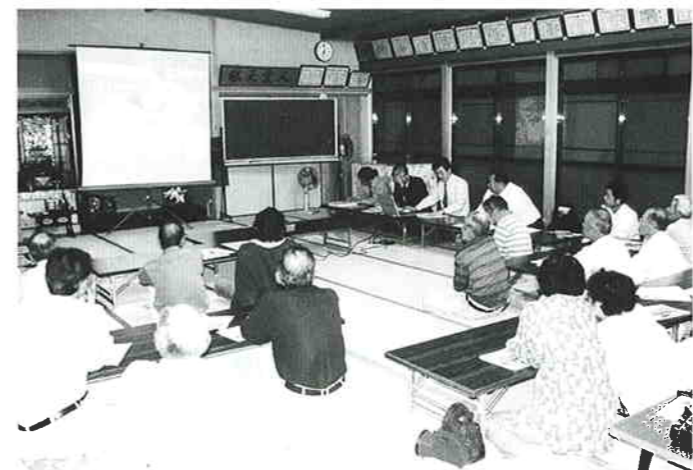
町長  
合併により、いかに住民サービスの低下を招かないようにするか配慮しつつ協議を進めてきたところです。サービスは

合併により行政サービスの低下を心配される声がある。どのように受け止め、どのように対応されるか。また、年明け、合併移行について区毎に説明会を実施できないか、当局の考えを伺います。



高く負担は低くということが言われますが、合併後の全住民に関する項目で、負担を低く抑えると財政負担が急増すること等あり、結果として負担が増えるものがあることも事実です。

移行準備会の内容は、合併便りや機会を捉えて報告をし、町民の一応の理解はいただいていると思っております。そのような説明会をやるということは日程的にも厳しいこともあり、最終的に分かっていく問題など、できるだけ分かりやすい形にしたい。「町民便利帳」というような冊子を各家庭に配る準備をしております。

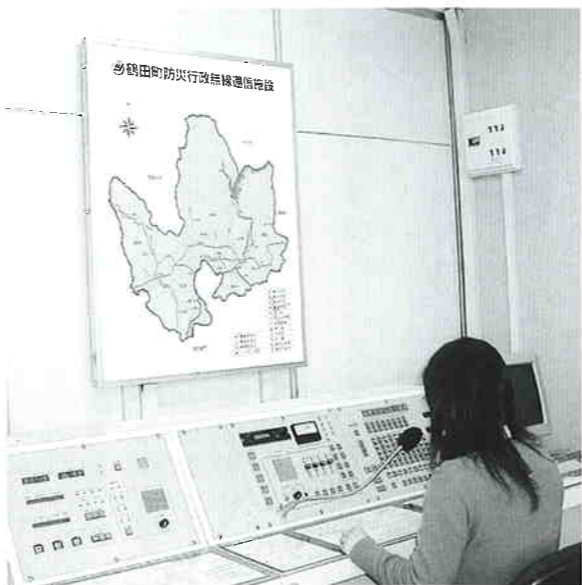


以前、集落で開催された合併説明会（大角集落）

町長  
災害弱者をはじめ地域住民に対しては、初動体制として、気象情報、避難所の開設状況、避難経路について、きめ細

高齢者、独居老人等の世帯が多くなってきた中で、これらの災害弱者に対する初動体制のあり方について。

かな情報を住民にいち早く提供するなど、防災無線を有効活用し、早め、早めの対応を図っています。



災害時等の際は、いち早い情報提供を行っている（町防災行政無線施設）

ここを、ただしました